

『DXを成功に導くクラウド活用推進ガイド CCoE ベストプラクティス』（1刷）に以下の誤りがございました。お詫びして訂正させていただきます。

●138 ページ 本文1段落目

本文の1段落目を以下のように訂正いたします。

【正】

富士フイルムビジネスイノベーション（以下、富士フイルム BI）は、2021年4月より、富士ゼロックスとしての約60年の歴史に幕を閉じ、再始動した。写真フイルムの会社から変革を遂げ、今やトータルヘルスケア、ICT領域まで幅広く事業を展開する富士フイルムブランドのもと、スピーディな開発生産とグローバルな事業展開を目指す。

【誤】

富士ゼロックスは2021年4月、約60年の歴史に幕を閉じ、富士フイルムビジネスイノベーション（富士フイルム BI）として再始動した。写真フイルムの会社から変革を遂げ、今やトータルヘルスケア、ICT領域まで幅広く事業を展開する富士フイルムブランドのもと、スピーディな開発生産とグローバルな事業展開を目指す。

●138 ページ 本文3段落目

本文の1段落目を以下のように訂正いたします。

【正】

富士フイルム BI では、2014年から、IT部門ではなく、ビジネスクラウドを活用するユーザー部門にあたるサービス開発部門に CCoE を設置。顧客向けのサービス基盤の提供や企画、新規ビジネス創出のための PoC（概念検証）支援などを行ってきた。主要な顧客向けサービスのほとんどがこのサービス基盤上で稼働し、検証環境を含む総テナント数は100を超えている。CCoE に所属する田中圭は、「クラウドを安全に使うために整備してきたガバナンスやセキュリティ対策のノウハウは、すでに富士フイルムグループ内のソフトウェア開発子会社やコンプライアンス部門などとは連携していますが、さらに富士フイルムグループ全体に広げていきたい」と語る。

【誤】

富士ゼロックスでは、2014年から、IT部門ではなく、クラウドを活用するユーザー部門にあたるサービス開発部門に CCoE を設置。顧客向けのサービス基盤の提供や、新規ビジネス創出のための PoC（概念検証）支援などを行ってきた。それは、富士フイルム BI になっても変わらない。主要な顧客向けサービスのほとんどがこのサービス基盤上で稼働し、検証環境を含む総テナント数は100を超えている。CCoE に所属し、そのリーダーといえる田中圭は、「クラウドを安全に使うために整備してきたガバナンスやセキュリティ対策のノウハウを、富士フイルムホールディングス全体に広げていきたい」と語る。

●141 ページ 上から14～15行目

【正】

さらには開発・保守コストにかかわる

【誤】

さらには開発報酬にかかわる

●145 ページ 上から 12 行目

【正】

プロジェクトリーダーだったのだ。

【誤】

プロジェクトマネージャーだったのだ。

●145 ページ 下から 4～3 行目

【正】

ユーザー部門の要望に応えるためには、既存のプライベートクラウドを活用したハイブリッドクラウド化が一つの答えなのかもしれないと思い始めていました」

【誤】

ユーザー部門の要望に応えるためには、ハイブリッドクラウド化が必要なのではないかと思い始めていました」

●146 ページ 上から 3 行目

【正】

情報システム子会社

【誤】

情シス子会社

●147 ページ 上から 3 行目

【正】

IT 部門から CCoE に加わり、

【誤】

IT 部門から現部門に異動し、

●147 ページ 上から 12～13 行目

【正】

富士フイルムホールディングス

【誤】

富士フイルムグループ

●148 ページ 下から 7 行目

【正】

なんてできる限り言わないようにしています。

【誤】

なんて絶対に言わないようにしています。

●161 ページ 図 1

「ビジョン」の項目に、「クラウドのコストが最適化された状態」が2つあるのは誤りです。1つは「クラウドの最適なプラクティスが提供された状態」です。

以上